

地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊とは

「地域おこし協力隊」とは、過疎地域等を有する市町村が、意欲ある都市住民等を雇用し、特産品の開発や地元産業のPRなど自身の経験や能力を生かした多様な地域協力活動を行ってもらうものです。

活動期間は、概ね1年から3年間で、最終的には、活動終了後も地域を担う人材として定住・定着していただくことを目指しています。

鹿児島県では、多くのOBOG隊員が、地域に残り、様々な分野で活躍しています。

地域おこし協力隊の主な活動について

鹿児島県では、40以上の自治体において、地域おこし協力隊が、主に次のような活動を行っています。

- ・ 移住定住促進のフリーペーパー作成 など
- ・ 観光資源の掘り起こしや観光商品の企画・開発、イベント開催 など
- ・ 空き家活用による集落活性化や買い物弱者等の支援 など
- ・ 農林水産物等の地域の特産品を活用した商品開発、マーケティング調査、都市部での物産展開催など
- ・ SNSを活用した市町村等の情報発信 など

上記以外でも様々な活動を行っています。

地域おこし協力隊の募集について

県内では、現在も、多くの市町村で地域おこし協力隊の募集を行っています。

県内市町村の募集情報は、県ホームページや、ニッポン移住・交流ナビ JOINホームページなど確認できますので、是非、ご覧になってください。

○ 県ホームページ（地域おこし協力隊）

○ ニッポン移住・交流ナビ JOIN

